

平成30年度

財政健全化審査意見書

砂川市監査委員

1. 審査の対象

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類

2. 審査の期間

令和元年8月19日から同年8月26日

3. 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

4. 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

健全化判断比率	平成 30 年度	平成 29 年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— %	— %	14.16 %
② 連結実質赤字比率	— %	— %	19.16 %
③ 実質公債費比率	4.6 %	5.8 %	25.0 %
④ 将来負担比率	17.0 %	14.9 %	350.0 %

(2) 個別意見

1) 実質公債費比率

実質公債費比率は、4.6 %となり、前年度から1.2ポイント減少し、早期健全化基準を20.4ポイント下回っており健全な範囲であるが、今後とも財政の健全化に努められたい。

2) 将来負担比率

将来負担比率は、17.0 %となり、前年度から2.1ポイント増加したが、早期健全化基準を333.0ポイント下回っている。今後とも財政の健全な状態の維持に努められたい。